



心を鍛える柔道 礼節とたくましさ

コロナ感染拡大予防対策のため、感染リスクの高い活動はどうしても制限がある中ですが、本校では保健体育で柔道を行いました。1年生にとっては、はじめての柔道、柔道着の着方、帯の結び方からの授業でした。

昨年度までは、全日本や国際的な場所で指導や審判をする特別講師の先生を招聘し、講道館柔道の基本から説いていただいたのですが、昨年度までで講師招聘制度が終わってしまいました。また、寝技や乱取りなど、至近距離で組み合うような活動はリスクが高いため、今年度は基本となる受け身を中心に行いました。

写真は「前受け身」です。1年生はお尻が上がったままだったり、ベターっとおなかまでついてしまったり、2年生はひじや手のあたりが柔道着



に擦れて傷になったりしていましたが、とにかく基本となる受身をしっかりと身につけて、技を掛けられても怪我をしないという最も大切なことを反射的にできるようにすることが大切です。また、なにより心を鍛えるのが



武道ですので礼節にあわせて「痛い」とか「苦しい」とか「疲れた」「嫌だ」といった自分の甘さを克服し、自分を鍛えるたくましさを身につけてほしいと思います。

放課後自主学習支援ボランティアについて

今週からの三者面談待ちで待機している3年生、そして放課後に学校で受験に向けた自主学習をする3年生の学習支援のため、地域の方がボランティアで学校においていただくこととなりました。

ボランティアとして3年生の学習支援していただくのは、相原さんという方です。教員経験はありませんが、英検2級資格を持っており、高校で勉強する数ⅡBに興味があるということで、高校の教科書を自分で購入し、今でも勉強をしているという勉強熱心な方です。(ちなみに、私校長は高校時代に数ⅡBで数学の勉強が行き詰まってしまう、数学がさらに嫌いになった経験があります・・・)

放課後の自主学習の際、教員が側について個別の支援ができればよいのですが、部活動の指導や授業の準備、教材研究や進路事務、生徒の記録や成績評価資料の準備・整理等、授業以外の事務や業務があり、なかなかそうした時間が取れないのが実状です。相原さんには、学習センターを通じて「ぜひ、学習支援ボランティアで協力できれば・・・」と申し出ていただきました。

3年生の皆さんには、初めて会うボランティアの先生であり、また毎日おいでいただくわけではありませんが、気軽に質問してみてください。一緒に考えてもらったり、アドバイスをもらったりすることで解決の糸口が見え、正解にたどり着くことができると思います。できなかった問題が、1問でも多くできるようになることが、自分の力を伸ばし志望校に近づく一歩となります。地道に一步一步取組んで前進していきましょう！受験に向けて学力のパワーアップを図ってください。

がんばれ3年生！ がんばれ受験生！

